

脱水症と水分補給



8月8日（木）

基里公民館にて、
「脱水症とその予防に効果的な水分補給」について講演会を開催しました。

講師 株式会社大塚製薬工場 OS-1事業部 三谷 尚史 氏

脱水症と水分補給

高齢者における熱中症

高齢者はのどの渴きを認識する感受性が低下するうえに生理機能や体温調整機能の低下がみられます。さらに、①エアコンがあつても効きすぎるのが嫌いで使わない ②防犯のために窓を閉める（足が悪く、1階に住むことが多い） ③夜間トイレに起きないように水分摂取を控えるなどの習慣をもつ人が多く、熱中症発症の危険性が高くなります。農作業や軽作業中だけでなく、自宅で安静にしている状態でも熱中症にかかります。

寝る前のコップ1杯の水は「宝水」

睡眠中にはコップ1～2杯の汗をかきますが、寝ている間は水分を補給できません。体内の水分が減少すると、脳梗塞や心筋梗塞を起こしやすくなります。寝る前にコップ1杯の水をのみましょう。



脱水症の診断方法

道具を使わずに行える診断方法

- ①爪を押してみる …押した部分が白からピンク色に戻るのに2秒以上かかる
- ②口の中、舌をみると…口の中が乾燥している
舌の赤みが強い、舌の表面に亀裂がある、舌が白く覆われている
- ③皮膚の張りをみると…張りがない、（新生児の場合）おでこがくぼむ
- ④手足を触ってみると…冷たくなっている

道具を使って行う診断方法

- ①血圧・脈拍…血圧が低くなる、脈拍が速くなる
- ②体重…減っている
- ③体温…微熱が続く



講演会で寄せられた質問



Q. のどが渴いた時、お茶やお水での水分補給ではダメですか？

のどが渴いたと思った時は、1～2%の脱水が始まっていると言われ、水分不足と同時にミネラル不足（ナトリウム、カリウム等）も起こっています。水やお茶だけでは、一時的にのどの渴きはとまりますが、体液濃度が薄くなってしまうので、体液濃度を保とうとして水分を出してしまいます。つまり、また脱水が起こってしまうのです。汗をかいた時は、減ってしまった水分・ミネラルどちらも摂取できるスポーツドリンク等の摂取をお勧めします。

Q. 食事の時の水分補給もお茶以外が良いですか？

食事には電解質が多く含まれています（食塩にすると6～15g/日）ので、電解質は十分に摂取できます。普段の食事での水分補給はお茶かお水でも良いと思われます。

Q. 緊急時、家にスポーツドリンク等がなかったら、作ることはできますか？

可能です。お水1Lの対して塩小さじ1/2杯、砂糖大さじ4.5杯を入れて沸騰させると、OS-1と一緒に組成のドリンクが出来ます。

Q. 高血圧で塩分制限をしている場合、スポーツドリンクを飲んでもいいですか？

市販のOS-1や自分で作った上記のドリンクを1L飲むと仮定すると、2.5g塩を摂取することになります。これは6g/日の塩分制限をされている方であればこれは1日の塩分量の40%にも値します。塩分制限目標が達成しにくくなる原因にもなりかねませんので、その場合は医師に相談し、塩分濃度をどのくらいに設定したらいいか話し合ってください。

次回予告

平成25年11月27日（水） 古賀副院長より「感染について」講演を行います
詳細は、玄関・外来ロビーなどのポスター、配布案内資料をご覧ください

皆様のご参加をお待ちしております